# 2023年6月期 第2四半期決算説明資料

2023年2月13日

便利で安全なネットワーク社会を創造する

BroadBand Security, Inc.

株式会社ブロードバンドセキュリティ

https://www.bbsec.co.jp/

Contents

# 売上高の増加にともない、売上総利益も増加
# 販管費の増加を吸収し、営業利益・経常利益・当期純利益とも過去最高を更新

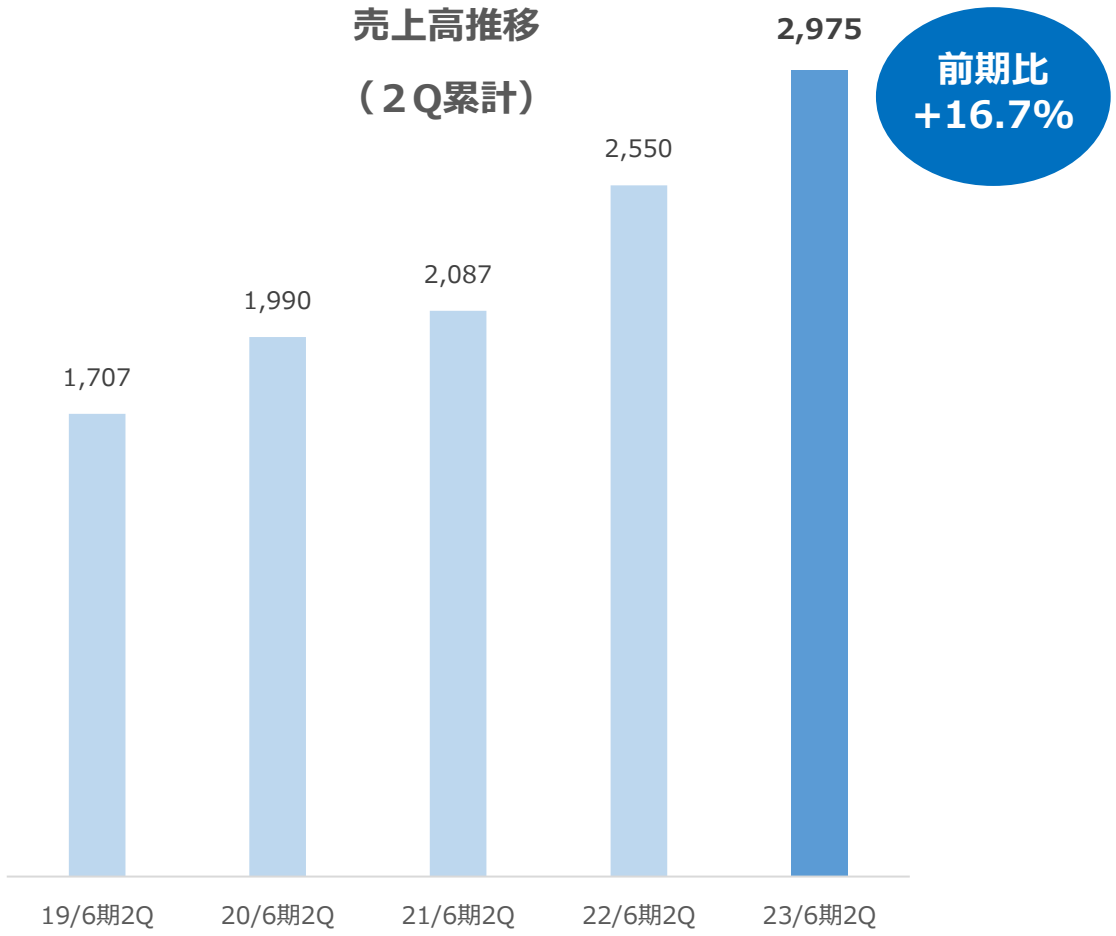
単位：百万円

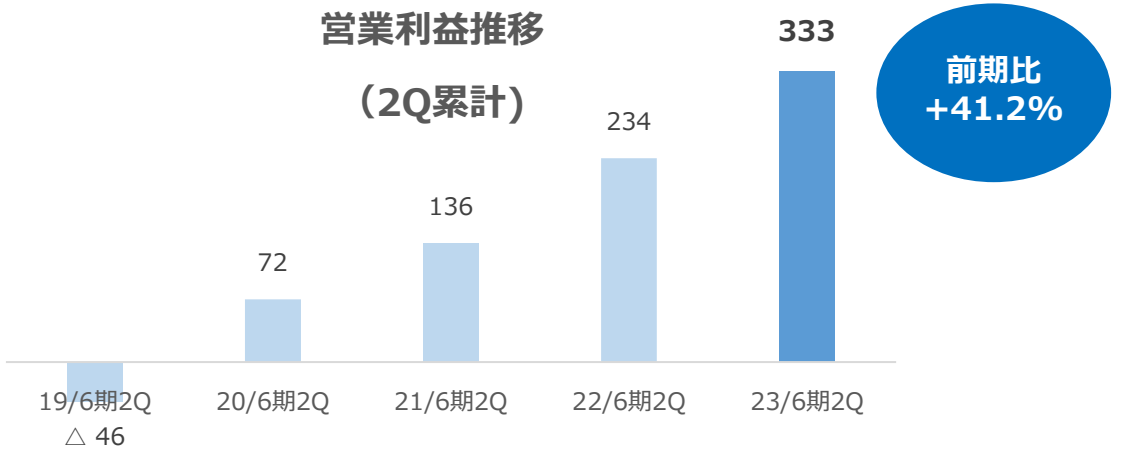
| 科目 | 2022年6月期 2Q累計実績 | **2023年6月期 2Q累計実績** | 前年同期比 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 2,550 | 過去最高 **2,975** | +425 | +16.7% |
| 売上原価 | 1,770 | 2,026 | +254 | +14.4% |
| 売上総利益 | 780 | 949 | +170 | +21.7% |
| 販売費及び一般管理費 | 544 | 616 | +72 | +13.3% |
| 営業利益 | 236 | 過去最高 **333** | +98 | +41.2% |
| 売上高営業利益率 | 9.3% | 11.2% | +1.9p | |
| 経常利益 | 229 | 過去最高 **327** | +98 | +43.1% |
| 売上高経常利益率 | 9.0% | 11.0% | +2.0p | |
| 当期純利益 | 148 | 過去最高 **259** | +110 | +74.7% |

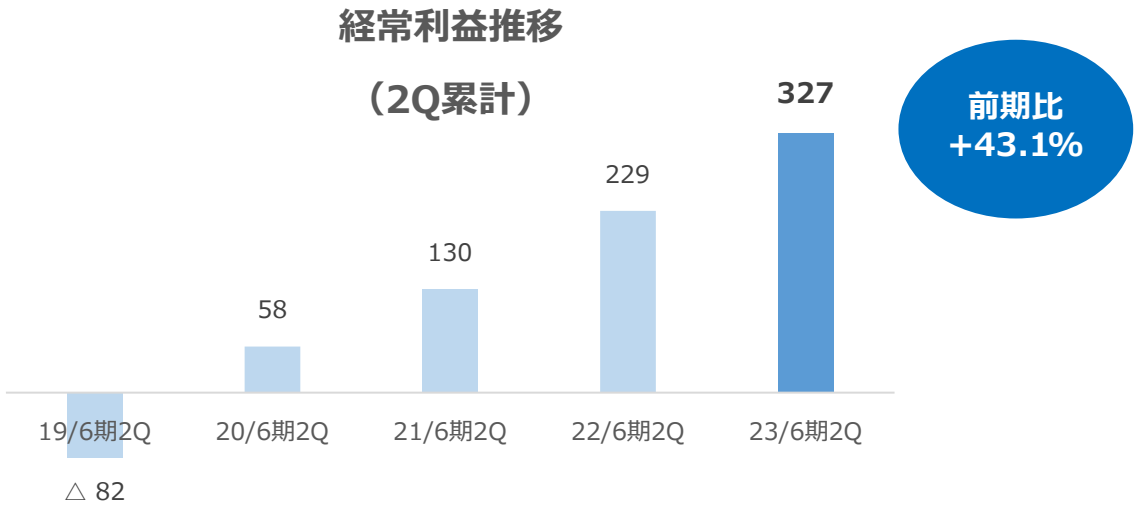
中間配当は5円に決定

# 前年同期比、増収・増益で着地
# ２Q累計として過去最高

単位：百万円



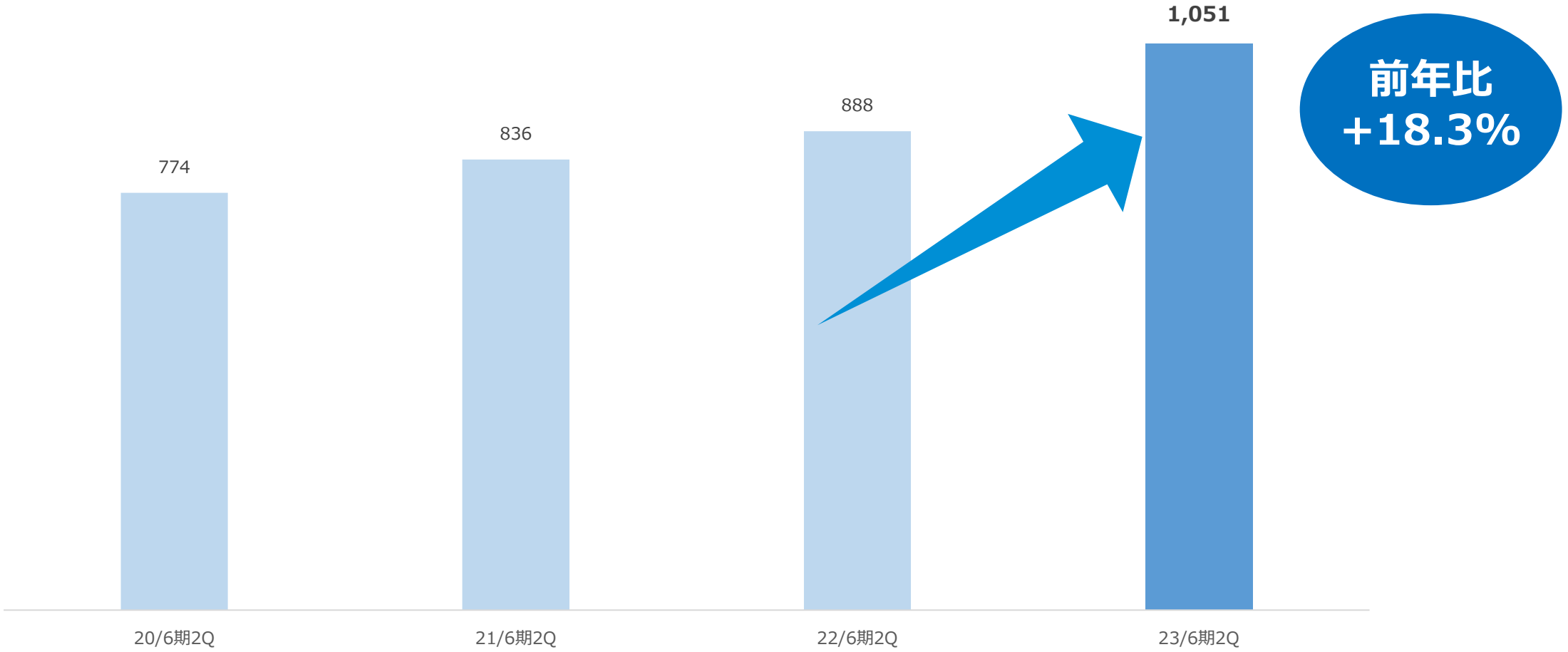



# 各サービス区分とも過去最高の売上高を更新
# 特に定常収益の比率の高い「情報漏えいIT対策」の増加が顕著に

単位：百万円

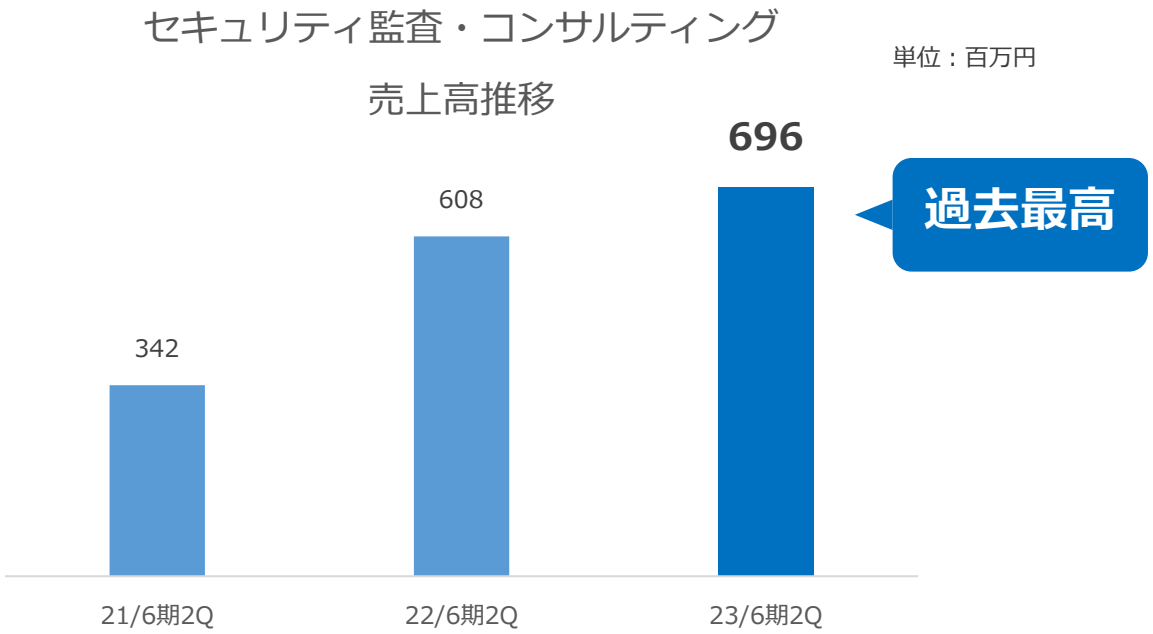
| サービス区分 | 2022年6月期 2Q累計売上高 | **2023年6月期 2Q累計売上高** | 前年同期比 | | 変動要因 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 増減額 | 増減率 | |
| **セキュリティ監査・コンサルティング** | 608 | **696** | +87 | +14.3% | ストック型コンサルサービス（アドバイザリ契約）の増大による増収により、増益にも寄与。 |
| **脆弱性診断** | 749 | **864** | +115 | +15.4% | 顧客数、案件数とも好調に推移<br>徹底した工数管理により、繁忙期における生産性を向上。 |
| **情報漏えいIT対策** | 1,192 | **1,415** | +222 | +18.7% | セキュリティ事故緊急対応の増加<br>24時間監視の継続サービスの積上（定常収益の増大） |

# 情報漏えいIT対策における定常収益が拡大
# 前年同四半期比で18.3%増、162百万円増




単位：百万円

# クレジットカード業界向け監査に加え、一般企業も含めた「ストック型コンサルティングサービス（アドバイザリ契約）」の増大が、増益にも寄与




監査・コンサルティング関連ウェビナー実施状況（２Q累計）

目標400名に対し**集客505名**
**前期比1.9倍**

- **情報セキュリティコンサルティング**

  長期間契約をベースとしたセキュリティアドバイザリ契約が好調、監査ビジネスのピーク性向の高い季節性を補い、利益面の底上げに貢献。

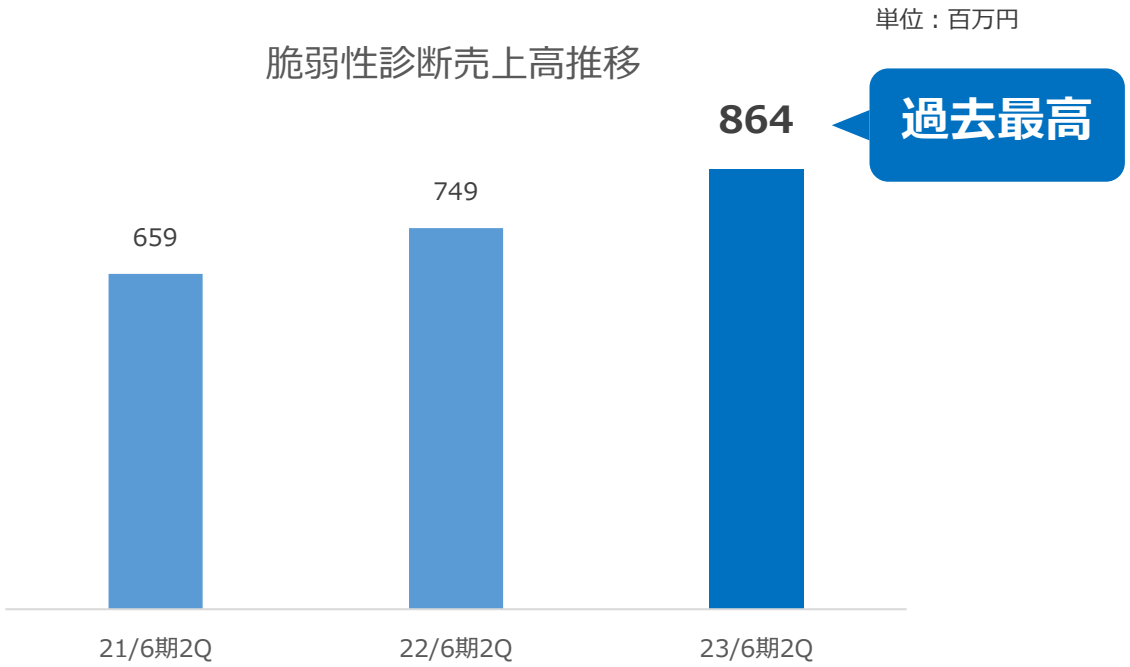
- **サプライチェーンのセキュリティ**

  昨今の事故を発端として、サプライチェーン リスクの低減が国内における重点課題。特に自動車関連業種での対策が進んでおり、業績に寄与。今後、ITサプライチェーン の観点におけるセキュリティ強化を軸として展開。

- **ウェビナー開催による情報発信**

  コンサルタントと直接対話のできる「ウェビナー」の開催を継続中。PCI DSS4.0、インシデント訓練、サプライチェーン といったキーワードは関心が高く、出版社との協賛開催等も推進し、情報発信の機会を増加。

# 早期の「受注＋ヒアリング」と「徹底した工数管理」で、繁忙期の生産性を強化。ピークも効率的に対応。





SQAT® Security Report
2022-2023年 秋冬号

-サプライチェーン攻撃を知る
-セキュリティの過去、現在、未来

- **Web・ネットワーク・ソースコード診断**

  PCIDSS準拠や定期的なセキュリティチェックを背景とした複数の大規模案件に対応。また、ソースコード＋Webの内外ハイブリッド型で高精度の診断を提供。

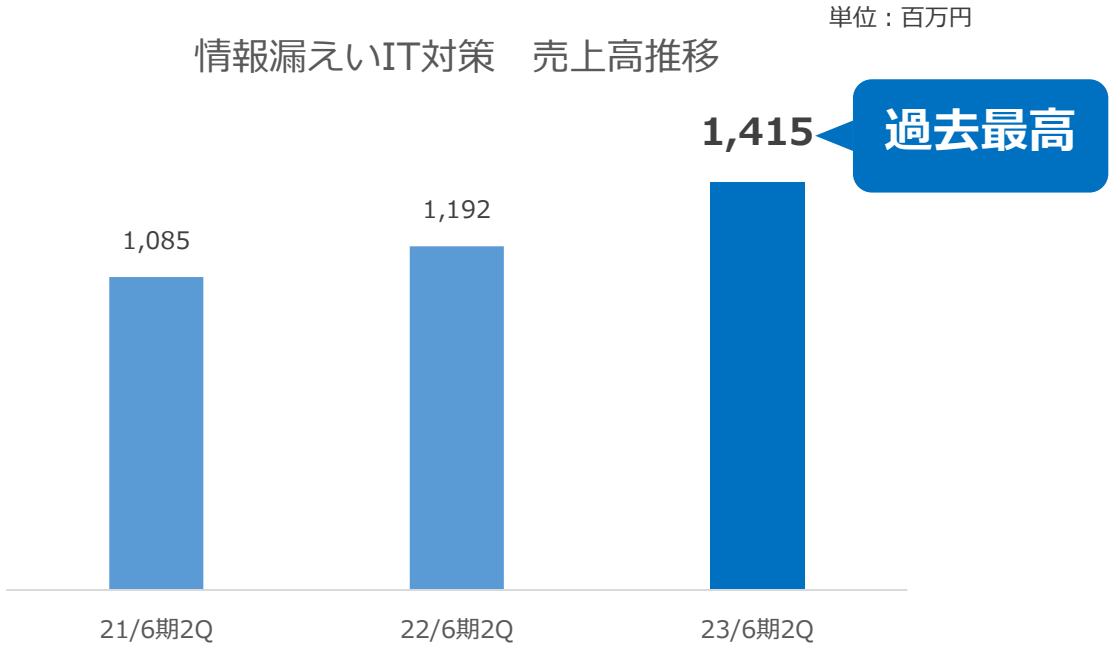
- **IoTセキュリティ診断**

  IoT機器を預かり、物理的なアプローチを含めたセキュリティ診断を実施。今後も続伸が想定されるIoT市場からの引き合いにも標準で対応できる体制を構築。

- **デジタルフォレンジックとの連携**

  インシデントが発生した顧客のシステム再開に向けた脆弱性診断の提供は継続。ログ分析を踏まえた脅威ベースのペネトレーションテストを提供。

# EDR※1やSIEM※2をはじめとした定常収益が引き続き堅調。
# 今後の需要にも対応すべく、24時間/365日の監視体制を増強。




定常収益
**前期比18.3%増**

デジタルフォレンジック/PFI売上
**前期比 1.6倍**

- **マネージドセキュリティサービス**

  EDRの遠隔監視運用サービスを主とした24時間365日のサービス提供（定常売上）が堅調に推移。

  また、SIEM分野において既存顧客のセキュリティ対策拡充や新規顧客への提供が伸張。

  （SIEM分野に限定した定常収益は前期比44%増）

- **デジタルフォレンジック および PFI**

  カード情報漏えいの専門機関「PFI(PCI Forensic Investigator)」としての引き合いが継続的に増加。

  加えて、カード情報以外のサイバー攻撃による被害調査のデジタルフォレンジックは、コンサルティング部門や診断部門など、他部門と連携する案件が拡大。

※1　EDR：Endpoint Detection And Response、端末の挙動等を監視し、異常の発生を検知・対応する新たなセキュリティソリューション

※2　SIEM：Security Information and Event Management、セキュリティ機器などが出力するイベント情報を一元的に管理し、脅威となる事象を把握するテクノロジー

# 2023年6月期　業績予想

1．定常収益モデルの月額売上高の増加による収益上積みを見込む
2．脆弱性診断のサービスメニュー拡大（ランサム対策）による収益貢献
3．フォレンジックサービスの拡大とアップセル

単位：百万円

| 科目 | 2022年6月期<br>通期実績 | **2023年6月期<br>通期計画** | 前年同期比 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 増減 | 増減率 |
| 売上高 | 5,216 | **5,800** | +583 | +11.2% |
| 営業利益 | 509 | **580** | +70 | +14.0% |
| 売上高営業利益率 | 9.8% | **10.0%** | +0.2p | |
| 経常利益 | 497 | **571** | +73 | +14.8% |
| 売上高経常利益率 | 9.5% | **9.8%** | +0.3p | |
| 当期純利益 | 352 | **400** | +47 | +13.5% |

Contents

ビジョン

## 便利で安全なネットワーク社会を創造する

価　　値

1．お客様の情報資産を守り成長を支援する

2．顧客ニーズに真摯かつ迅速に対応する

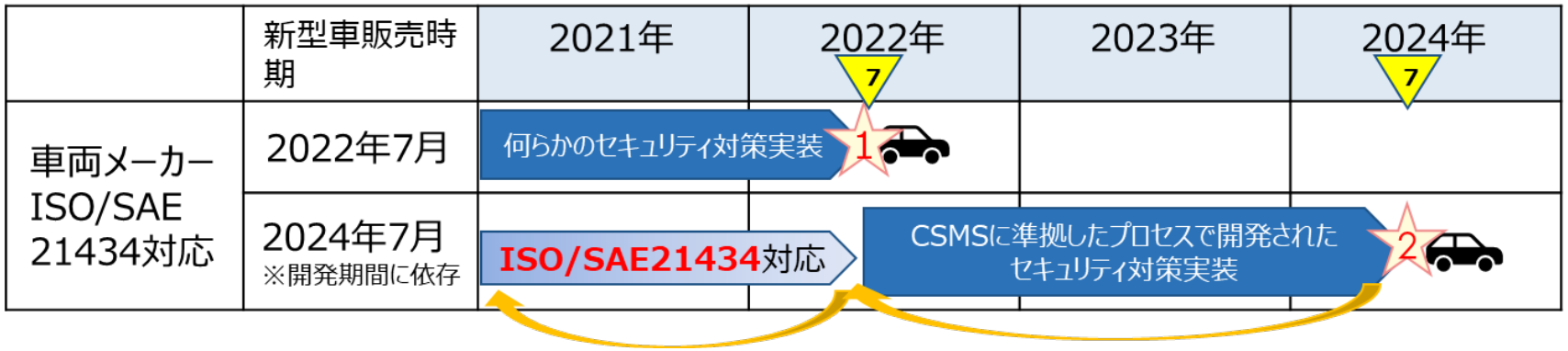
3．高度な専門知識とサービスを分かりやすく提供する

4．進化する攻撃にサービスで対抗する

# 資本業務提携先であるGSXと共催ウェビナーを実施、新たな顧客層へリーチ

自動車業界に関係するすべての会社が対応しなければならない「自動車産業サイバーセキュリティガイドライン※」のサポートとして、GSX（グローバルセキュリティエキスパート株式会社）とウェビナーを開催

**参加申込**
**約150名**




出典：GSX/BBSec共催ウェビナー「まだ間に合う! 自動車産業サイバーセキュリティガイドライン対応」

※一般社団法人 日本自動車工業会、一般社団法人 日本自動車部品工業会が共同で策定したもの

**⇒資本業務提携により推進している施策の一つ、「当社従来顧客とは異なる層へのアプローチ」を継続実施**

# 最新のサイバーセキュリティの動向と対策を、タイムリーに分かり易くご紹介する「 SQAT® 情報セキュリティ瓦版」「SQAT® Security Report 」公開

## SQAT® Security Report

無料　Web　冊子


半期毎発行

6ヶ月ごとに当社脆弱性診断の結果を集計・分析。
その傾向を探るとともに、セキュリティに関する国内外の動向を分かりやすくお伝えしています。

## SQAT® 情報セキュリティ瓦版

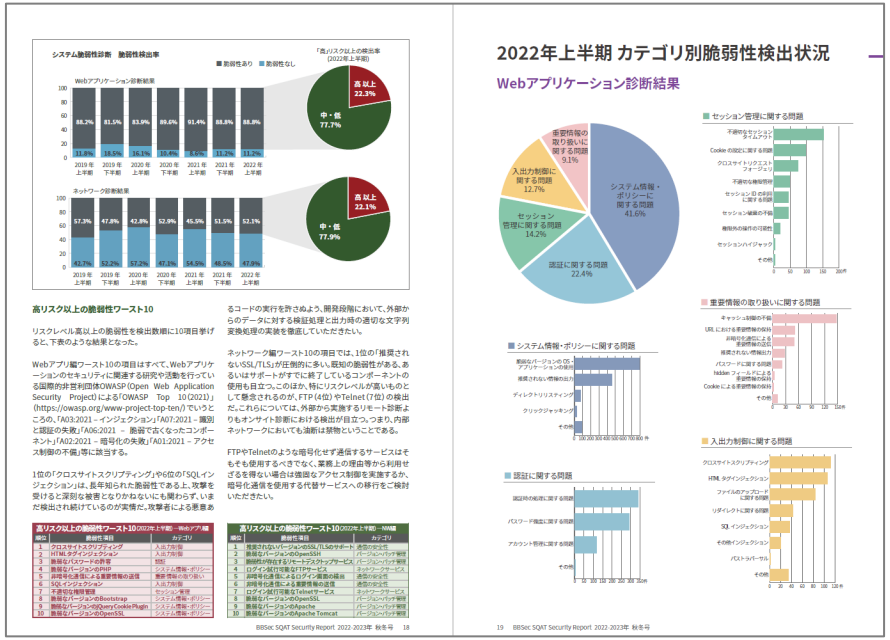
無料　Web


隔月発行

BBSec SQAT Software Quality Analysis Team

SQAT®セキュリティトピックスで取り上げた話題から、特にホットなものを深堀り。
解説記事を瓦版としてお届けしています。

- 脆弱性診断サービスに関する最新動向をご提供
- 当社の脆弱性診断サービスを通じて見えてくる動向をお客様に還元
- 企業のセキュリティ担当者の方への解説記事




SQAT® Security Report

# 共通脆弱性識別子「CVE」への登録により、セキュリティ業界に貢献

脆弱性診断を提供するセキュリティ・サービス本部では、様々なハードウェア/ソフトウェアの脆弱性を日々研究しています。

- 当社エンジニアが発見した脆弱性には、情報セキュリティにおける脆弱性やインシデントについて固有の**共通脆弱性識別子「CVE」**として登録されているものがあります。
- 共通脆弱性識別子CVEは米国政府の支援を受けた非営利団体のMITRE社が採番し、**世界共通で使用**されています。
- 主要なベンダから出される脆弱性情報は、大半がこのCVEへの対応をベースとしています。

**CVE : Common Vulnerabilities and Exposures**
脆弱性やインシデントについて固有の名前・番号を付与しリスト化された共通脆弱性識別子

**2022年7月～12月における、当社のCVE登録**

| CVE番号 | 概要 |
|---|---|
| CVE-2022-44637 | Redmine におけるクロスサイトスクリプティングの脆弱性 |
| CVE-2022-45113 | Movable Type における複数の脆弱性 |
| CVE-2022-45122 | |
| CVE-2022-43660 | |
| CVE-2022-43479 | SHIRASAGI における複数の脆弱性 |
| CVE-2022-43499 | |
| CVE-2022-41797 | スマートフォンアプリ「Lemon8 (レモンエイト)」におけるアクセス制限不備の脆弱性 |
| CVE-2022-38078 | Movable Type の XMLRPC API におけるコマンドインジェクションの脆弱性 |
| CVE-2022-000059 | Android アプリ「Hulu / フールー」に外部サービスの API キーがハードコードされている問題 |

# Webサイトランキング情報

金融・不動産・EC・IRサイトなど、30業界、4,600サイトをゴメス独自の評価基準で評価し、ランキング発表を行っています。Gomezサイトランキングは多くの企業でサイト評価の指標とされています。

## Gomez IRサイトランキング2022

全上場企業のIRサイトの中から、主要項目調査で一定基準を満たした377社から総合得点6.0以上を優秀企業として選定。

優秀企業：金賞（総合得点8点以上）

| 順位 | 得点 | サイト名 |
|---|---|---|
| 1 | 8.98 | ソフトバンク |
| 2 | 8.92 | 伊藤忠商事 |
| 3 | 8.91 | コニカミノルタ |
| 4 | 8.77 | セブン&アイ・ホールディングス |
| 4 | 8.77 | 中外製薬 |


- ウェブサイトの使いやすさ
- 企業・経営情報の充実度
- 財務・決算情報の充実度
- 情報開示の積極性・先進性

## Gomez投資用不動産情報サイトランキング2022

業種ごとのサイトランキング。総合得点・ウェブサイトの使いやすさ・情報量とコンテンツ・安定性と信頼感・便利な機能とサービスの各カテゴリで選定。

総合得点

「投資用不動産情報サイトランキング」の総合得点による順位は、以下のとおりです。このランキングは2022年11月11日時点の各ウェブサイト、およびオンラインサービスにもとづいて評価を行っています。カテゴリ別ランキングについては、右側の各項をクリックしてください。

総合得点　ウェブサイトの使いやすさ　情報量とコンテンツ　安定性と信頼感　便利な機能・サービス

理論上最高得点 = 10 理論上最低得点 = 0

| 順位 | 得点 | サイト名（運営会社） | サイト |
|---|---|---|---|
| 1 | 7.61 | 楽待（ファーストロジック） | |
| 2 | 6.71 | LIFULL HOME'S不動産投資（LIFULL） | |
| 3 | 6.38 | ノムコム・プロ（野村不動産ソリューションズ） | |
| 4 | 5.93 | 東急リバブル投資用（東急リバブル） | |
| 5 | 5.86 | 三井不動産リアルティ（三井不動産リアルティ） | |

# Contents

# 会社概要

**会社名**
株式会社ブロードバンドセキュリティ (略称：BBSec)
BroadBand Security, Inc.

**本社所在地**
東京都新宿区西新宿8-5-1　野村不動産西新宿共同ビル4F
(〒160-0023)

**URL**
https://www.bbsec.co.jp/

**設立**
2000年11月30日

**資本金**
293百万円

**決算期**
6月

**株式公開情報**
市場：東京証券取引所　スタンダード市場
上場日：2018年9月26日
証券コード：4398

**従業員数**
222名（2022年6月末現在）

**代表者**
代表取締役社長　　滝澤 貴志
代表取締役副社長　森澤 正人

**事業内容**
1. セキュリティ監査・コンサルティングサービス
2. 脆弱性診断サービス
3. 情報漏えいIT対策サービス

**事業所**
国内：天王洲オフィス、大阪支店、名古屋支店
東北セキュリティ診断センター

海外：韓国支店

オペレーションセンター：１拠点 (東京都内)

# 会社沿革

## 2000 会社設立

**国内ブロードバンド網の相互接続インフラを提供すべく会社を設立**

2000年11月　会社設立（社名：㈱ブロードバンドエクスチェンジ）
2004年10月　合併によりネットワーク監視事業を追加

## 2005 セキュリティサービス開始

**初のセキュリティサービス「セキュアメールASPサービス」を開始**

2006年5月　㈱ブロードバンドセキュリティに社名変更
2008年5月　PCI DSSの認定審査機関「QSAC」認定取得

## 2009 セキュリティ専業へ

**セキュリティ事業に特化、各種サービス開始**

2009年1月　「デイリー脆弱性診断」を提供開始
2009年4月　セキュリティオペレーションセンター開設
2009年4月　「PCI DSS準拠支援」を提供開始

## 2012 グローバル展開開始

**国内企業の海外展開支援をするために、初の海外支店オープン**

2012年3月　韓国営業所（現韓国支店）設立
2013年3月　デジタルフォレンジック事業開始
2015年5月　「PCI DSS準拠支援」のグローバル対応を本格化

## 2016 統合サービス開始

**サービス提供範囲をITのみから組織全体へと拡大**

2016年5月　「PCI DSSオンサイト評価」を欧米に拡大
2017年5月　「インターネット分離」を提供開始

## 2018 株式公開

**お客様の基幹に触れる事業者としての責任を果たすべく、株式公開**

2018年9月　東京証券取引所JASDAQ市場への新規上場

## 2020 新たな社会ニーズへの対応

**リモートワークなど新たな社会ニーズに求められるのセキュリティサービスを積極展開**

2020年8月　「テレワーク環境　情報リスクアセスメント」を提供開始
2020年9月　「国際送金ネットワーク SWIFT 評価・コンサルティング」の提供を開始

## 2021 サービス領域拡大

**PFI、CPSA登録によるサービス領域拡大とゴメス・コンサルティング事業の承継**

2021年4月　カード情報漏えい事故調査機関 PFI登録
2021年5月　クレジットカード製造におけるセキュリティ評価機関 CPSA登録
2021年7月　モーニングスター株式会社よりゴメス・コンサルティング事業承継

## 2022 クラウドへの注力

**資格者数の飛躍的増大、AWSパートナー認定**

2022年4月　東京証券取引所の市場再編により「スタンダード市場」に移行
2022年5月　AWSパートナーネットワークセレクトティアサービスパートナー認定
2022年7月　「サイバー保険付帯の脆弱性診断サービス」の提供開始

# 見えない脅威から「守るべき情報資産」をさまざまな視点で防御

情報資産への脅威と当社のサービス

## 技術的対策

**インターネット公開エリア**
- 脆弱性診断
- UI/UX評価・開発・運用

**クラウドエリア**
- クラウドセキュリティ設定診断
- Managed Security Service for AWS

**サーバエリア**
- Managed Security Service
- SIEM運用/セキュリティログ解析

**オフィス／テレワークエリア**
- インターネット分離クラウド
- エンドポイントセキュリティ(EDR)運用

**緊急対応**
- 緊急対応サービス
- クレジットカード情報漏えい調査

## 守るべき情報資産

・財務情報　・顧客情報
・人事情報　・技術情報
・ノウハウ　etc.

## 組織的対策

**セキュリティ評価/コンサルティング**
- 情報セキュリティ・アドバイザリ
- PCI DSS準拠支援
- CSIRT構築/運用支援
- インシデント対応訓練

**フォレンジック／内部統制**
- デジタルフォレンジック

## 人的対策

**教育/情報提供**
- 標的型攻撃メール訓練
- 情報セキュリティ研修
- 脆弱性情報提供

# 技術的対策　情報資産を守るための対策を、技術的な観点からご支援

| 対策エリア | 提供サービス | |
|---|---|---|
| インターネット公開エリア | ▶ 脆弱性診断 | システムライフサイクルにおけるあらゆるフェーズとあらゆる対象範囲で診断を実施 |
| | ▶ UI/UX評価・開発・運用 | WEBサイトランキング・評価・総合分析、サイト構築・運用 |
| クラウドエリア | ▶ クラウドセキュリティ設定診断 | クラウドサービス別の業界標準ベンチマークを用いてセキュリティ推奨設定への適合度をチェック |
| | ▶ Managed Security Service for AWS | クラウドサービスの特性を考慮し、攻撃の検知・対応に加え、インシデントが発生する前の予防も支援 |
| サーバエリア | ▶ Managed Security Service | 24x365体制で監視・精査し予兆並びにインシデント発生時にお客様にアラートを発呼 |
| | ▶ SIEM運用/セキュリティログ解析 | セキュリティログを当社セキュリティ技術者が監視/分析し、インシデント発生時にお客様にいち早くお知らせ |
| オフィス/テレワークエリア | ▶ インターネット分離クラウド | お客様の外部接続環境を当社クラウドにお預かりし、セキュリティ監視やマルウェア検知、セキュリティビッグデータ解析 |
| | ▶ エンドポイントセキュリティ(EDR)運用 | 組織の端末を24/365体制で監視。インシデント発生時には端末隔離等の初動対応を実施 |
| 緊急対応 | ▶ 緊急対応サービス | インシデント発生時に、お客様企業に出向き、事象の把握と初期対応、そして今後の対策についての方針を決定するための支援 |
| | ▶ クレジットカード情報漏えい調査 | PCI SSCの基準に則った調査・報告を行い、お客様のインシデント対応を支援 |

# 組織的対策　セキュリティ強化に向けた組織的な体制作りをご支援

| 対策エリア | 提供サービス | |
|---|---|---|
| セキュリティ評価/コンサルティング | ▶ 情報セキュリティ・アドバイザリ | 情報セキュリティ強化に向けた組織的な体制づくりを、社内ルール/情報システム両面から支援 |
| | ▶ PCI DSS準拠支援 | クレジットカード業界の国際的なセキュリティ基準 PCI DSS、PCI P2PE、PCI 3DS評価機関として高品質の訪問評価、準拠コンサルティングを実施 |
| | ▶ CSIRT構築/運用支援 | お客様それぞれの企業文化・リソースに合ったCSIRTのプランニング/構築/運用を専門家の立場から支援 |
| | ▶ インシデント対応訓練 | CSIRTなどのインシデント対応要員の対応力を高めるため、具体的なシナリオに従ってロールプレイング形式で訓練を実施 |
| フォレンジック/内部統制 | ▶ デジタルフォレンジック | 法的根拠となるデータの抽出、報告書の作成等のデジタルフォレンジックに必要となるサービスを提供。また、重大インシデント発生時の初期対応から復旧まで支援 |

# 人的対策　社員一人一人のセキュリティに対する認識とスキルを向上させ、組織全体としてのリスク軽減をご支援

| 対策エリア | 提供サービス | |
|---|---|---|
| 教育／情報提供 | ▶ 標的型攻撃メール訓練 | 擬似攻撃メールを配信し、実際に模擬体験をすることで、社員の方々のセキュリティ意識を高めるための教育 |
| | ▶ 情報セキュリティ研修 | 受講者が情報セキュリティに関する知識やスキル等を養い、組織のリスク軽減を実現させるプログラム |
| | ▶ 脆弱性情報提供 | 世界中をかけめぐる莫大な脆弱性情報の中からお客様システムに影響を及ぼす可能性のある脆弱性情報のみをフィルタリングして提供 |

# 便利で安全なネットワーク社会を創造する

セキュリティ対策の可視化から運用までをトータルに支援するセキュリティサービスプロバイダー

## セキュリティ監査・コンサルティング

お客様システムの可視化/課題　抽出/課題解決を目的とした、組織全体に対するセキュリティ支援サービス。IT・組織両面からセキュリティの盲点を発見し、実現可能な解決策を提示。

## 脆弱性診断

お客様システムに潜む脆弱性の有無を検証し、リスクを分析した上で改善案を提示するサービス。時々刻々と変化するセキュリティ事情に対応するために様々なニーズに応える各種診断メニューをラインナップ。

**現状を可視化**

## 情報漏えいIT対策

慎重かつ堅実な継続的作業を求められるセキュリティ運用を、セキュリティのプロフェッショナルが24時間・365日体制でご支援。

**対策の導入と24/365運用**

# 当社が多くのお客様から選ばれる理由

## 豊富な実績

これまでに延べ45,500システム超の脆弱性診断実績（2022年6月現在）

## 高品質・技術対応力

国内最多規模の資格保有者の知識・経験を核とした最先端の技術対応力

## 中立性・信頼性

最適な改善策を提示するために欠かせないベンダーニュートラル性

## ユーザーオリエンテッド

お客様個別のニーズやスピードにお応えする柔軟な体制

# セキュリティの資格保有者が多数在籍し、多角的にお客様の対策をご支援

PCI DSS
基準認定付与件数
**678件**
（2023年1月現在）

PCI DSS
基準認定付与企業数
**150社**
（2023年1月現在）

AWS認定資格
取得数
**123名**
（2022年5月現在）

PCI 関連資格取得者数
＜QSA、CISSP等＞
**111件**
（2023年1月現在）

SWIFT
評価企業数
**30社**
（2023年1月現在）

本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。
これらは現在における見込、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、業界並びに市場の状況、金利、為替変動といった国内、国際的な経済状況の変動により異なる結果を招く不確実性を含みます。

当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

また、当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

株式会社ブロードバンドセキュリティ
お問い合わせ　ir@bbsec.co.jp
https://www.bbsec.co.jp/ir/